

事業名	病虫害発生予察事業費			調査番号	80
細事業名	病虫害発生予察事業費	財務コード	062402		
担当部課室	農政 部 農業技術 課 鳥獣害対策 担当 (内線)	5371			

I 事業の概要

実施期間	始期 S27 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 農業者、JA、市町村	その対象をどのような状態にして 農作物に被害を及ぼす病虫害の発生動向を把握し、必要な対策を実施できる。	結果、何に結びつけるのか 病虫害による農作物被害の未然防止
	総合農業技術センター(環境部、調査部)、果樹試験場において、農作物に被害を及ぼす病虫害の発生時期、発生量、被害程度等を調査するとともに、発生予察情報を提供し、病虫害による被害を最小限度に抑える。 <input type="checkbox"/> 指定有害動植物発生予察(予察は場(定点)調査、巡回調査) <input type="checkbox"/> 重要病虫害発生予察(予察は場(定点)調査、巡回調査) <input type="checkbox"/> 病虫害発生予察情報の発表 <input type="checkbox"/> 侵入警戒病虫害、新規発生ウイルス病調査		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	病虫害発生予察情報の発表	目標	11	11	11	11	11	11	
		実績(見込)	11	11	11	11	11	11	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		1,352	1,278	1,212	1,426	1,437	1,459	1,351	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	病虫害発生予察情報は、病虫害の発生状況等の調査を実施し、その後の病虫害の発生を予測したもので、農業者・普及指導員や営農指導員等の農業技術指導者に提供している。これにより、防除の実施や実施時期の決定の判断に役立てられ、適期に病虫害防除が実施でき、農薬の散布回数の削減にもつながっている。その結果、病虫害による被害防止に寄与していることから、事業の成果は上がっている。
成果指標	b		

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	本年のモモセン孔細菌病の多発生への対応など、農作物の生産に対する発生予察事業の貢献度は大きく、重要病虫害の多発生や新規病虫害の発生時など、成果向上が可能である。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (重要病虫害の突発的な発生や本県への侵入警戒病虫害が増えているため、調査対象の精査、拡充などの見直しを行う。)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	本年、モモセン孔細菌病が多発生したように、近年の異常気象等から甚大な被害を与えるような病虫害の発生が増えているため。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

拡大	説明	本年、特異的に発生したモモセン孔細菌病や、国内各地で生育地域を拡大しているツマジロクサヨトウといった新たな病虫害が発生するなど、病虫害の状況が変化しているため、巡回調査地点を増加し、必要な調査項目等を追加するなど事業を拡大し、的確な防除の実施や防除指導につなげられるような発生予察情報の提供を行う。
----	----	---

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがなければ「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。